

2013年度第11回執行理事会議事録

期 日：2014年5月10日（土、地質の日）13:00～17:00

場 所：地質学会事務所

出席者：石渡会長 渡部副会長 齋藤常務理事 伊藤井龍 内藤 西 星 松田 山路 山本（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出，未記入議場委任）：ウォリス副会長 坂口 高木 中澤 平田 保柳 山口（→井龍）

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者11名，委任状 7名，合計18名の出席。

*前回議事録を確認した。

I 審議事項

1. Nii（文科省）の電子図書館での有料公開出版物について

今後Niiでの課金取り扱いが平成28年度に終了することとなった。公開を継続する場合にはオープンアクセスとなる。課金する場合にはJ-Stageなどを利用できるが費用が発生する。

Niiでの課金制度終了までは従来通りとし，終了時にはオープンにする。学会としては冊子の在庫がある限り販売する。

2. 2015年地感連合大会における巡検の実施とGSA共催国際セッションについて

GSA側からの返答に基づき，地質学会としての巡検や国際セッション等は行わないことにした。国際セッションやそれに伴う巡検の世話人から共催依頼があった場合は個々に判断する。

3. 訃報の取り扱いについて

これまでのルールどおり，名誉会員の訃報はgeo-flashで広報する。加えて元正・副会長の訃報についても同様とする。それ以外の会員については，関連する支部や部会がそのメーリングリストなどで広報する。広報委員会はこの原則に関する記事を作成し，News誌，geo-flashに掲載し会員に周知する。

4. 26年度第1回理事会の議案

審議事項

- ・最初の進行は前理事会議長または副議長
- ・会長＝代表理事，副会長の選出
- ・執行理事と特任理事の選出，部会長の選出
- ・理事会議長・副議長の選出
- ・業務委員会メンバーの承認（地質雑編集委員会，その他確認可能な委員会）
- ・各賞選考委員会委員の選出（選出後委員会内で委員長を互選すること）
- ・その他

II 報告事項

(1) 全体の報告

1. 地球惑星連合総会の報告（石渡会長）

連合の新規加入学会（現数50学協会），2014年大会セッション数，発表数，フェロー選出者，25周年記念式典等について報告があった。

2. 米国地質学会の協力学会になる件（石渡会長）

GSAに検討を依頼した（返答待ち）。

3. 空中写真のウェブ公開に関する要望書について（齋藤）

提出前に改善が確認され，提出を取りやめた。活断層学会会長からその報告があった。

4. 堆積学会よりM. Chan教授のGSA講演ツアーの概要及び予算概要について連絡があり，地質学会は経費負担金8万円を支出した。講演会は5/9（東京），5/11（京都）で行われる。

(2) 運営財政部会：総務委員会（西・山本）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 青少年のための科学の祭典2014（5/18-3/31，全国で開催）の後援依頼が同祭典事務局（日本科学技術振興財団）よりあった。例年のとおり承諾する。

2. 三浦半島活断層調査会より地質の日記念「城ヶ島観察会」の後援依頼があり，例年のとおり承諾した。

3. J-DESCコアスクール・微化石コース（第7回）／第10回微化石サマースクール（8/29-31）の開催にあたり，共催の依頼と資金の支援要請があった。共催は承諾とするが，経費の支援は行わない。

4. 第3回学生のヒマラヤ野外実習プロジェクト（世話人会代表 吉田勝）終了報告があり，News誌4月号に掲載。

5. 住友財団より，2014年度研究助成公募（基礎科学研究助成，環境研究助成）があり（6/23締切），News誌，geo-flashに掲載

6. 資源素材学会より新役員挨拶状，会長家守伸正氏。

7. 石灰石鉱業協会より新役員挨拶状，会長松本六朗氏。

8. 日本技術者教育認定機構（JABEE）の総会開催案内委任状提出。

<会員>

1. 今月の入会者（13名）

正会員〔5名〕：河合研志，奥西 猛，大岩根尚，福田耕太，上原真一

正（院割）会員〔7名〕：島塚桃子，齋藤麻美，闇津翔平，広瀬 健，勝村敏史，山下修平，石川真帆
正（学部割）会員〔1名〕：黒島健介

2. 今月の退会者（正会員 6名）

沖田正明，岩村 陽，東田和弘，鶴 和也，加藤陸実，野呂田晋

3. 今月の逝去者（正会員 2名）

鹿園直建 (2014年4月22日), 平野弘道 (2014年5月5日)

4. 2014年4月末日会員数

賛助:27, 名誉:66, 正会員:3729 (正会員:3623, 院割会員:99, 学部割会員:7) 合計3822 (昨年比-54)

<会計>

・法人税等について, 4/24に会計士と懇談した。

(3) 広報部会: 広報委員会 (内藤・松田)

- ・鹿児島大会におけるプレス発表について
研究成果のプレス発表候補について, 今年はセッション世話人からの推薦のみ受け付けることにした。
- ・「地質学者に答えてもらおう」の質問, 回答状況について報告。
- ・フォトコン写真の展示を5/3-5/17まで, 銀座地下道のプロムナードで開催中。
- ・ジオルジュ2014前期号 (第5号) を出版した。
- ・受賞者紹介を含めた英語ホームページの充実を進める。

(4) 学術研究部会: 行事委員会 (星)

- ・鹿児島大会について

(5) 学術研究部会: 国際交流委員会 (井龍)

- ・日本地球惑星科学連合のフェローに, 地質学会から8名が選出されたので, ニュース誌に記事を投稿した。また, 同記事は, 5月下旬配信予定のgeo-Flashにも掲載予定である。
- ・津波シンポについて, タイ地質学会からMontri Choowong氏 (ChulalongkornUniversity) が参加する予定, タイ地質学会会長にも連絡中。

(6) 編集出版部会: 地質学雑誌編集委員会 (山路)

1) 編集状況報告 (5月9日現在)

2014年投稿論文 総数32編 [総説2 (和文2)・論説18 (和文18)・ノート1 (和文1)・報告5 (和文4・英文1)・口絵3 (和文2・英文1)・巡検案内9] 査読中 29編 受理済み8編 (うち特集号2 案内書4)

・120巻4月号: 論説1, 報告1 (約30頁, 5/2発送済み)

・120巻5月号: 論説2 (約30頁, 入稿準備中)

・特集号「地層処分と地球科学 (仮)」を受付 (4/9受付)。査読中。

2) 編集委員会報告 (4月30日, 於地球惑星連合大

会会場)。

投稿数増加策のひとつとして, 編集プロセスを迅速化する方を具体的に議論した。

(7) 編集出版部会: Island Arc編集委員会 (伊藤)

・編集状況報告

3つの特集号を編集作業中。IFは昨年とほぼ同じ見込み。

受理原稿の早期掲載を行う。校正前の原稿を掲載予定。

編集委員の所属と専門分野 (2~3のキーワード) をHPに明記する。

・ダウンロード賞が決定。

Hickman氏: Review of the Pilbara Craton and Fortescue Basin, Western Australia—Crustal evolution providing environments for early life, Island Arc, 21 (1), 1-31.

・IARの案内を行う目的で共同編集学会のHPにバナーを掲載し, リンクしてもらう。

(8) 編集出版部会: 企画出版委員会 (山口・保柳)

・電子出版「地学を楽しく」については, PDF版にして学会のジオストアでの販売を開始した。

(9) 社会貢献部会 (高木・平田・中澤・保柳)

・春季地質調査研修会 (5/-5/) は参加者が少数のため, 今回は実施取止めとした。

・2014年地質の日イベントは, 5/10に応用地質学会との共催による, 街中ジオ散歩「下町低地の地盤沈下と水と暮らし」を開催, 一般参加者25名。

(10) 地学オリンピック支援委員会 (平田)

・4月29日 (火) の地学オリンピック社員総会にて地学オリンピック支援委員会がまとめた「第6回予選問題評価と要望」を提出

(11) 中期ビジョン委員会 (坂口)

・4/14-16に宇都宮市 (コンセーレ宇都宮) で合宿委員会を開催した。参加者10名。

なお, 同委員会の報告記事を出すよう求めた。

(12) 総会スケジュール確認した。

以上

2014年5月24日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 石渡 明
署名人 執行理事 斎藤 眞